

「ありがとうございます」を
いつまでも

社会福祉法人ガナンの慶

生活介護事業所ヒノエ工房
生活支援員 藤田 敦一

私がヒンバ工房で働き始めたてから、4年目を迎えた。これまでの歩みを振り返った時に「ありがとうございます」という言葉が浮かんできます。福祉の仕事に携わることなど夢にも思つたことのなかつた私が、どういう巡り合わせなのか今の仕事を与えられています。

4年前の春、「障がいを持つ」といわれる利用者さんと私は出会いました。食堂での朝礼で紹介された私は、何を話して良いのかも分からず「釣りが好きです」と精一杯の言葉を絞り出しました。

「おお！」と歓声が上がり、予想に反して房の仲間入りをすることがで
きました。ヒソップ工房の皆さん、「ありがとうございます」。
「販路拡大コーディネーター」という馴染みのない職
名で始まつたヒソップ工房での仕事。これまでの仕事で菓子
製造には携わっていたものの、それを「利用する方々の作業」
にマッチした形にしていくため、思考錯誤の繰り返しでした。

イベント販売では「売れれば良い」のではなく、その商品に込められる「利用者さん一人ひとりの物語や夢」をお客様へ伝えるために、自分なりに考えて売り場に立つようになったように思います。

商品が売れた時の喜びは日増しに強くなってきました。商品をお買い上げいただいた皆様「ありがとうございます」といいます。

いよいよ「いわて国体・いわて大会」も迫ってきました。新商品の開発、当日に向けての企画が進んできています。

うになってしまった。そして、イベント販売では「売れれば良い」のではなく、その商品に込められる「利用者さん一人ひとりの物語や夢」をお客様へ伝えるために、自分なりに考えて売り場に立つようになったように思います。

——やれは美味しいでさ
あがる……」しかし、それを彼等に伝える術を自分が持ち合
わせていないもどかしさ。そ
んな辛い時にも、作業に闘わ
るメンバーが「藤田さん」と
優しく声をかけてくれました。
その一声にどんなにはげまさ
れたことでしょう。私が所属
する「作業三課」の皆さん「あ
りがとうござります」

もともと口下手な私は、外
に出歩くことがあまり得意で
はありませんでした。(今も
変わりありませんが……)。「勉
強、勉強」と言い聞かせ、会
議やイベント販売に出かけて

新商品の開発 今日は向けています。
正直、自分にどこまでやれる
のか不安は強くあります。や
れることしかできませんが、
これまでと同様に皆さんの方
を借りながら、一歩一歩進ん
で行きたいと思います。
感謝することを忘れずに、
ヒソップ工房の皆さんの方
祈りながら、これから仕事
にも励んでいきたいと感じて
います。

一方、藤田さんが開発した新商品には「クロッカムール」「シユーラスク」「ビス」「ツティ」「シフォンケーキ」などがあり、更に他事業所に赴き「フルーツタルト」の開発や技術指導を行っています。利用者の皆さんも「髭のパティシエ藤田さん」が人好きで、休み時間には会話と笑いが絶えません。製造だけでなく利用者と共に販売に立っていることも多いので、見かけたらお気軽に声をかけてあげて下さい。洋菓子サイドからの福祉の理解者として、これからもよろしくお願い致します。

上
藤田さんには、2011年4月に福祉事業所生産性向上事業の販路拡大コーディネーターのパートナーとして仲間に入つてもらいました。とても誠実で奥ゆかしい雰囲気があります。職人として一本筋が入つたところがあり、新製品の質には妥協を許しません。ところが、パートナーなのに甘いお菓子が苦手で、味見だけで胸焼けしてしまうという面白い人です。

上司からのメッセージ

職人気質のパティシエ ヒソップ工房所長 阿部 孝司



表紙写真・笑顔の福祉

今年も「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、赤い羽根共同募金運動が県内各地で展開されています。10月1日の共同募金開始セレモニーでは、夢つむぎ城南によるコーヒーの試飲コーナーが設けられ、キンダーホーム園児が「わんこダンス」を披露。桑島博県共同募金会会長の挨拶のあと、企業・団体から寄付金が贈呈されました。

information

◆参加宣言募集

平成28年10月22日(土)～24日(月)開催の「2016希望郷いわて大会(全国障害者スポーツ大会)」の「盛り上げ活動」「おもてなし活動」などで「大会への参加を宣言し、みんなで大会を楽しもう!」という取組みです。グループ単位でお

2016希望郷いわて大会（全国障害者スポーツ大会） 参加宣言募集とボランティア募集

申込みください。

宣言の一例：「あいさつ
をします！」「来県した皆
さんを歓迎します！」など

在) ならどなたでも応募できます(中学生は保護者の同意があれば可)。皆様のご協力をお願いします。

◆ボランティア募集

岩手県では、大会の運営に協力いただけるボランティアを募集しています。高校生以上（平成28年度現

広報「パートナー」は本会のホームページでもご覧になれます。
お問い合わせは県社協総務部 019-637-4466まで。

岩手県社会福祉協議会ホームページアドレス
<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>